



TITLE:

東亞天文協會觀測部月報

AUTHOR(S):

CITATION:

東亞天文協會觀測部月報. 天界 1934, 14(161): 420-426

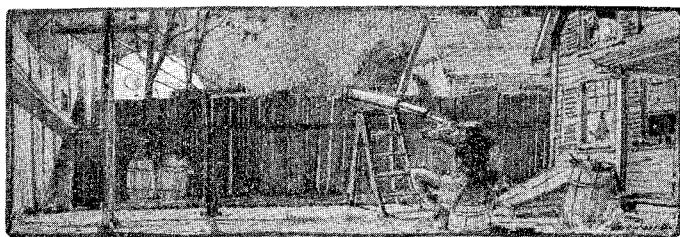
ISSUE DATE:

1934-08-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/166872>

RIGHT:



東亞天文協會觀測部月報

黃道光課報告 (1934年4,5,6月分)

幹事 淺野英之助

4月以後は漸く各觀測者も落着きを得、更に新課員の續出を見るに至つたことは實に喜ばしい。しかし未だ冬の休止を繼續されてゐる方は此の秋の東天に、或は對日照に、是非再起されんことを祈る。七月下旬に東京市の稻垣武五氏より觀測問合せあり、氏は直に休暇を利して裏南洋へ向け觀測旅行の途につかれた。

獨國ホフマイスタより來書あり。花山ブレテン第288號を見られよ!!

4.5.6月分の報告を取まとめて次に：

1. 黃道光觀測者及び觀測

數 觀 測 者	略符	觀 測 地	4 月	5 月	6 月	合計
寺 町 忠 行	Tr	愛知縣豐山村	1		1	2
笹 部 榮 一	Sb	大阪府池田町	1			1
本 田 實	Hd	鳥取縣八東村	1	2	2	5
中 野 繁	Nk	大分縣中津市	2			2

2. 觀測概要

略符	觀 測 日 時	略符	觀 測 日 時
Hd	4月 7日 19時 45分	Hc	5月 15日 20時 45分
Nk	〃 〃 19時 50分	〃	〃 16日 20時 45分
Sb	〃 〃 21時 30分	〃	6月 3日 20時 55分
Nk	〃 8日 20時 00分	Tr	〃 6日 20時 49分
Tr	〃 9日 19時 50分	Hd	〃 18日 3時 15分

3. 四月7日西天の觀測

期せずして本田、中野、笹部三氏同日の觀測あり、笹部氏のみ時刻が甚だ遅いが本田、中野兩氏は殆んど同時刻に見てゐられる。中野氏は備考欄へ注意不充分と記されてゐる故、餘り確かな比較も出来ないが、本田氏は銀河以西を取り中野氏は銀河を突抜けるあたりまで取られてゐる。何れも形は 5° 位北傾してゐる。中野氏は幅廣く本田氏は稍々狭い。明るさは相當であつた。此の日笹部氏のは日没後3時間餘りの頃の觀測で、銀河を越えて蟹座のあたりまで頂點が伸びてをり、更に獅子座山猫座の不規則光斑に續いてゐる。銀河と交はる部分を除いて、明るさはさすがに淡い。

4. 五月中旬西天の觀測

15, 16兩日共本田氏の努力である。結果はほゞ似たもので、明るさは既に衰へ、幅も稍々狭くなつてゐるが、例によつて天頂以東獅子座に至る光帯が見えてゐる。前月に比して中心線の傾きが少い。

5. 六月上旬宵の觀測

明るさはほゞ前月中旬同様である。寺町氏は銀河との比較がなされてないが、規定の銀河が見えない場合には北極星附近の明るさとの比較でもよろしいから是非記入されたい。

6. 珍しい6月曉の觀測

花山急報 No. 94 で報ぜられた如く、珍らしくも本田氏の熱心によつて18日に東天の黃道光が捕えられた。從來本邦に於ては6月曉の觀測は全く無く、その状況を知るを得なかつたのであるが、今回氏の熟練と努力によつて貴重な觀測が得られたことは喜びに堪へない。明るさは甚だ淡くはあるが、明らかに見えてをり、幅もかなり廣く、明るさの中心線も相當北傾してゐる。スケッチには Pegasus, Pisces, Cetus, Aquarius に連る不規則狀の光斑が詳細に加へられ、「暖みある黃道光に比して冷白色の故に明瞭に區別できた」と記入されてゐる。これらが果して何であるかは明かでないが、とにかく燈火全く無しといふ好觀測地と熟練によつて始めてなさるべきで、本年の一大收獲と言はねばなるまい。

×

×

×

今月(九月)の觀測可能日

黃道光。西天——宵の觀測は1日—13日頃迄及び月末の3日間位であるが殆

んど銀河に妨げられてゐる。うんと遅い時刻にでも見るより外ないであらう。比較銀河は前月同様 C.

東天——曉の觀測は7日頃—20頃迄可能であるが、双子座附近の銀河が未だ抜けきらず頂點附近を妨げるであらう。しかし觀測は次第に容易となる。比較銀河は前月同様 A.

對日照 上旬と中旬とが可能である。本月よりいよいよ觀測の好期となる。

昨年一昨年の興味ある變化を再検討されたい。

彗 星 線

今年の如き、彗星不作の年は珍しい。上半期も既に過ぎて一ヶ月にもなるのに未だ、新彗星は勿論舊周期彗星も發見されず。天氣が悪いのか？ 搜索する人が少いか？ 日本内地の天氣は、五月、六月、七月を通じて、メチャクチャに悪るかつた。一ヶ月に、觀測も出來た夜は、二三日を越えない。

前月號に、エンク彗星の豫報位置を轉載すると書いて、印刷所の手違ひから、其のまゝになつて終つて、大分迷惑をかけた事と思ひます。少し時期は逸したけれど、以下に其豫報位置を掲げる。此れは、L. Matkiewicz 氏のものである。別に、N. Idelson 氏のものが發表されて居るが、大同小異である。

萬國時	α (1934.0)	δ	萬國時	α (1934.0)	δ
月 日	^h _m ^s	[°] _' ["]	月 日	^h _m ^s	[°] _' ["]
8 16	7 11 36.1	+29 57 55	9 21	12 5 23.9	- 3 5 46
20	7 42 36.7	+28 29 49	23	12 21 16.3	- 5 27 52
24	8 14 37.6	+26 26 10	25	12 36 49.2	- 7 42 45
28	8 47 12.6	+23 45 4	27	12 52 3.0	- 9 49 55
9 1	9 20 2.5	+20 26 17	29	13 6 58.5	-11 49 10
3	9 36 29.8	+18 33 0	10 1	13 21 36.4	-13 40 27
5	9 52 58.5	+16 30 59	3	13 35 57.5	-15 23 51
7	10 9 29.3	+14 20 20	5	13 50 1.8	-16 59 30
9	10 26 4.0	+12 1 43	7	14 3 49.6	-18 27 33
11	10 42 43.0	+ 9 36 5	9	14 17 20.6	-19 48 15
13	10 59 25.4	+ 7 4 57	11	14 30 34.5	-21 1 51
15	11 16 8.2	+ 4 30 29	13	14 43 30.8	-22 8 39
17	11 32 46.1	+ 1 55 25	15	14 56 9.2	-23 8 58
19	11 49 12.9	- 0 37 27	17	15 8 29.2	-24 3 8

近日點通過は9月15日頃、光度は其時8等級位に上る豫定。

(7月19日)

1934年の彗星界 今1934年中に近日點へ再歸する筈の彗星は次の三つ

彗 星	近日點通過の日	出 現	要 項
Wolf	2月 28日	第 7 回	{ 去1933年7月末發見さる 1933e 軌道甚だ不確 去7月10日發見された! 1934a
Tuttle-Giacobini	3 21?	第 3 回	
Encke	9 15	第 30 回	

掩 蔽 課

本課が設置されてまだ日が浅いので、現在萬端内容の充實に務めてゐる。同好の士は遠慮なく入課を申出でられよ、直接間接の援助を與へたい。本課の現状を略記しておく。

花山天文臺に於ける掩蔽觀測計算者は主として、公文武彦、高城武夫の二名が専らこの仕事に當つてゐる。觀測希望者は觀測使用機、倍率、時計、經緯度等につき當課宛申出でられたい。尙一週間に一回の割で豫報を發表するから、必要數だけの葉書を宛名明記の上豫め送付さるれば、その都度豫報を通報する筈。尙ほ、觀測報告は花山ブレテン(283, 284, 287)にある。(高城)

遊 星 面 課 月 報 (六月)

新 課 員

宮 島 善 一 郎 氏	長野縣上田市	8cm屈折赤道儀
大 口 周 作 氏	大阪府河内郡野田村	15cm反射經緯儀
前 田 治 久 氏	京都市下京區新町六條	10cmク

概況 天候不良の一言に盡きる。當課の如く天候に對し非常に條件のムツカシイ課は全く閉口する。

水星 六月中旬に東方へ極大離隔だつたが、單に「六日の月」位の形を數日認めたのみ。

金星 沓掛氏により8, 18日の觀測を受取つた。だんだん見にくくなつて行くので心淋しくなる。

木星 宮本、木邊兩幹事により數枚、淺野、伊達淺野兩氏よりも二枚程美しい描寫を送られ、前田氏よりも以前のもの一枚送付を受けたが、小口径でもよい故、出来るだけ連續したものを望む。でないとい切角のものが餘程價值がなくなるので。星の表面上は相變らず變化を續けて居る、8月になれば見難くなるので、近く宮本氏に整理をして貰ふ事になつて居る。

土星 そろそろ見る時季になつて來た。今年にも昨年の白斑の様な事は起きないだらうか？ 美しい環を見る心積でも良い故、目を離さぬ様御願する。

(前號訂正 342頁最後の行 外國專人間は外國素人間の誤り)
341頁、木星の段第一行 宮原氏は宮島氏の誤り)

變 光 星 課 報 告 (18)

小 山 秋 雄

七 月 中 の 觀 測 數

星 名	今 津 績	加藤孝一	沓掛七二	銅 弘 倫	木下 謙	高井博典
V Aquilae	—	—	—	—	—	1
T Centauri	—	—	1	—	—	—
R Coronae	10	7	—	6	10	—
W Cygni	5	—	—	—	10	—
SS Cygni	—	—	—	—	6	—
δ Librae	—	5	—	13	—	—
R Hydrae	7	5	1	2	—	—
V Ophiuchi	7	—	—	—	—	—
RS Ophiuchi	—	—	1	—	—	—
W Sagittarii	6	—	—	—	—	—
R Scuti	3	—	—	—	—	—
R Virginis	—	—	1	—	—	—
合 計	38	17	4	21	26	1

▲ 新に報告を送られた高井氏を御紹介する。

京都市烏丸通塙藥師角 三和銀行京都支店内 高 井 博 典

使用器械は11cm反射鏡 (45×) である。同氏は昨秋より始められ、δ Cep (22個), γ Cyg (6個), TX Dra (4個) R Hya (1個), R Leo (3個), の觀測の報告がある。

▲ アルゴル及うし座ラムダ星の極小の觀測をすゝめる。

ア	ル	ゴ	ル	ウレ座 ラムダ星
9月 8日	1.8時	10月 1日	0.4時	9月 3日 20時
10	22.7	3	21.2	7日 19
13	19.5	6	18.0	
28	3.6	21	2.1	10月 ナシ
		23	22.9	

觀測に都合のよい
9,10月中の極小時
は、別表の通りで
ある。天文年鑑の
うし座ラムダ星の

豫報は計算に誤りがある。

太陽課 黑點相對數報告 (1934年七月)

觀測者(觀測地)	松本(臺灣臺中高女)	山田(山口縣小郡町)	日野(愛媛縣新居郡)	改發(神戸市須磨區)	荏部(神戸市灘區)	伊達(兵庫縣雲雀丘)	井澤(大阪府岡中學)	北村(大阪府外布施)	前田(京都市下京區)	龜井(花山天文臺)	水邊(滋賀縣中里村)	三澤(長野縣上諏訪)	沓掛(長野縣青木村)	清水(静岡縣島田町)	森久保(橫濱市中區)	淺居(橫濱保土谷區)	水谷(東京市本郷區)	稻垣(東京市芝區)	山根(東京市澁谷區)	千葉(岩手縣水澤町)	下保(札幌市豐平町)
鏡徑耗	50	75	98	150	75	36	110	50	70	55	73	73	102	100	35	27	38	75	44	50	58
倍率	40	48	69	68	77	55	92	62	40	64	60	83	75	73	50	50	50	30	43	50	44
1	0	0	0	0	0	忙		0	0	欠	0	0	0	0	0	欠	忙	旅	忙	曇	0
2	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	忙	忙	曇	0	0
3	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	忙	0	忙	忙	忙	0	0
4	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	曇	12	11	欠	12	12	11	12	11	11	12	12	12	11	11	曇	11	11	12	曇	11
8	13	11	欠	13	13	12	11	12	11	11	12	12	12	12	11	曇	11	11	12	曇	11
9	12	11	13	13	13	23	11	12	11	12	12	23	23	12	11	曇	12	12	12	雨	12
10	12	23	11	11	11	曇	11	11	11	曇	雨	雨	雨	34	11	雨	11	33	雨	雨	11
11	12	23	11	11	11	曇	11	11	11	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	曇	22
12	曇	22	曇	雨	雨	曇	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	曇	22
13	22	雨	曇	曇	曇	曇	22	22	22	欠	欠	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	22
14	22	曇	曇	曇	曇	曇	22	22	22	欠	欠	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	22
15	22	曇	曇	曇	曇	曇	22	22	22	欠	欠	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	22
16	22	曇	曇	曇	曇	曇	22	22	22	欠	欠	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	22
17	曇	雨	曇	曇	曇	曇	22	22	22	欠	欠	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	22
18	曇	雨	病	病	病	曇	22	22	22	曇	忙	忙	忙	忙	忙	忙	忙	忙	忙	忙	22
19	雨	雨	病	病	病	曇	22	22	22	忙	忙	忙	忙	忙	忙	忙	忙	忙	忙	忙	11
20	雨	雨	病	病	病	曇	11	11	11	忙	忙	忙	忙	忙	忙	忙	忙	忙	忙	忙	0
21	雨	雨	病	病	病	曇	11	11	11	忙	忙	忙	忙	忙	忙	忙	忙	忙	忙	忙	0
22	曇	曇	雨	雨	雨	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	0
23	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	0
24	0	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	0
25	0	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	0
26	0	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	0
27	0	曇	忙	忙	忙	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	0
28	0	曇	忙	忙	忙	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	0
29	0	曇	忙	忙	忙	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	0
30	0	曇	忙	忙	忙	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	0
31	0	曇	忙	忙	忙	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	0
平均	5	10	5	6	8	8		7	7	8	6	6	6	8	6	4	5	5	10	5	7
日数	21	14	23	20	29	16		25	29	16	16	24	19	19	17	15	10	13	11	11	29

○中旬以後の梅雨に似た悪天氣のため各地の課員は相當惱まれてゐるが、課員の分布が御覽の通りであるから、こんな際でもいさゝか心強い。○清水氏は眼視觀測と共に寫眞撮影もされて見事な印畫となし毎月報告されてゐるが、これは誠に結構な事である。○花山ブレテン286参照。●訂正 前號本欄の山田氏の觀測地は山口縣柳井町である。